

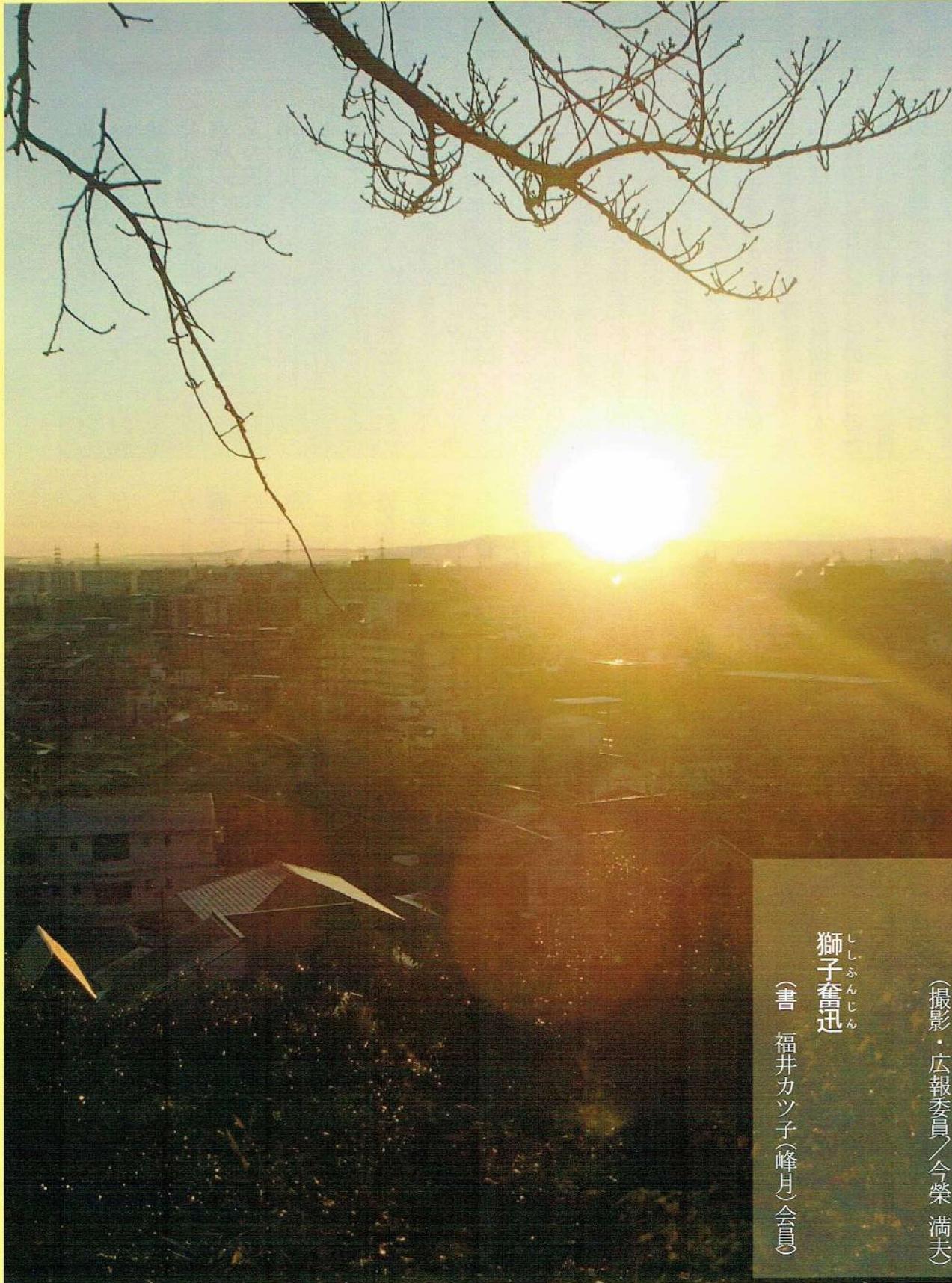


会報シルバー  
たからづか

第 155 号

平成31年1月15日

編集発行：公益社団法人 宝塚市シルバー人材センター 広報委員会  
〒665-0827 宝塚市小浜2丁目1番1号 TEL. 0797(81)7000 FAX. 0797(81)7040



獅子奮迅  
時月正

宝塚の風物

宝塚神社境内から望む日の出

(撮影・広報委員) / 今榮 満夫

獅子奮迅  
ししふんじん

(書 福井カツ子(峰月)会員)

# 新年のご挨拶

公益社団法人

宝塚市シルバー人材センター

理事長 古村 宏太郎



新年あけましておめでとうございます。皆さま、

会員の皆様にはお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、宝塚市をはじめ各関係機関の皆様方には、当シルバー人材センター事業の推進にあたり、温かいご支援を賜りありがとうございました。ここに改めて心から厚くお礼を申し上げます。また、会員の皆様におかれましても、平素から真心のこもった就業に努めていただいていることに対して、心から厚くお礼を申し上げます。昨年は、度重なる台風や大雨が

あり、日本各地に甚大な被害をもたらしました。当センターにおきましても、センターの看板が強風により倒壊したこと及びセンター車両のバックガラスが破損するなどの被害が発生しました。また、各地の災害に対して、全国的にボランティアが組織され被災者を救済されている様子がテレビで放送されるのを見て、心が救われる思いがしました。

ところで、当センターの上半期の業績は、皆様のご支援に依ることが出来ずに微減となっております。しかし、企業等の人手不足分野へのシルバー派遣の実績は大きく伸びている状況でありますので、今後もこれらのニーズに対応して参りたいと考えております。

また、会員数につきましては、平成29年度からの自転車駐車場の指定管理業務の終了により減少傾向が続いており、会員増加は大きな課題であります。その実現のためには、会員の皆様の「一人一会員の入会勧誘」、「配偶者や友人・知人の勧誘」など、職員、役員、会員が一体となった取り組みによる会員増大事業の展開が必要であると考えられますので、会員の皆様方の

なお一層のご協力とご支援をいただきますようお願い申し上げます。「一年の計は元日にあり」ということわざがありますが、その計画の中に、是非ともシルバー会員の増強に向けての活動展開を加えていただきたいと存じます。

最後になりましたが、会員の皆様、いつまでも「生涯現役」の気概をもって、元気で活躍されることを願いつつ、本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

宝塚市長 中川 智子



新年あけましておめでとうございます。皆さま、

皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

貴センター会員の皆様方には、日頃から丁寧で細やかな仕事や地

域での熱心なボランティア活動にご尽力いただき、市民の暮らしを支えていただいておりますこと、厚くお礼を申し上げます。

さて、ご存じのとおり本市は「お互いさま」があふれるまち・宝塚を目指し、「エイジフレンドリーシティ宝塚行動計画」を策定し、高齢者をはじめとするすべての方にやさしいまちづくりのため様々な施策に取り組んでいるところです。

その行動計画において、8つある分野の1つである「市民参加と就労」の具体的な取組みとして、貴センターが行っている高齢者の生きがいと就労の機会の創出が重要なテーマとして取り上げられています。

現在、本市は市民の4人に1人が65歳以上の方である超高齢社会に突入しています。今後もその割合は高まっています。2050年には市民の約40%が65歳以上の方となる見込みです。健康で生き生きと暮らし続けていただくために、高齢者の方が輝ける場所をこれまで以上に確保していく必要があります。地域と密着し、それぞれの希望に応じて就業することができ、貴センターの事業はまさに

びつたりです。ぜひ市と市民の皆さんの架け橋になっていただきたいと思います。そのために貴センタ―とはこれまで以上に連携を深めていきたいと考えています。

会員数は減少傾向にあり、業務においても、植木の剪定や手入れなど、従事できる方が少なくなっていると聞いております。今後も、さらに多くの方に入会していただくとともに、会員の皆様が気持ちよく働くことが出来る就業環境の整備、就業機会の確保に積極的に取り組んでいただき、ますます充実・発展されることを大いに期待いたしております。

結びに、貴センターのますますのご発展と、皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

# 亥

## 新春インタビュー

今年も新年号の企画として、亥年生まれで長く会員在籍の年男・年女の皆さんに取材させていただきました。これまで長い人生を歩まれて6回目の亥年を迎えた皆さんは、就業に、趣味に、とにかく元気で朗らか。後輩会員・新人会員への参考になればと思い、日頃の生活ぶりや新しい年の抱負などを伺った。

今回集まっていたいた亥年の皆さんは、昭和22年といういわゆる団塊世代の始まりの生まれ。戦後日本の復興期、成長期を一所懸命に生き抜いてこられた方々です。今日の日本の発展を支えてこられた世代とも言える。学校でも、会社や社会生活でも、競争や変化の激しかった時代ではなかっただろう。忙しかった時代を乗り越えて、今の皆さんはシルバーエイジをのびのびと生活されているように見える。

地域班の班長としても班の皆さんを引っ張っておられる酒井会員、シニアカレッジで4年間学び卒業

を楽しみにされている杉山会員、ポスティングの就業は、とにかく歩くので健康に非常に良いと話される木村会員、お友達やお孫さんとの時間がいちばん楽しいと話される渡辺会員、大病を乗り越えて就業もスポーツも頑張られる荒木会員、皆さんの言葉の端々にも今の生活の楽しさが滲み出ているようだ。元気と健康の秘訣を随所に感じた取材であった。

(広報委員) 佐野 純

### 荒木 健雄会員

ゴルフやサイクリングを楽しんでいます。健康寿命を伸ばして、2025年の大阪万博を見に行きたいと思います。

### 木村 浩会員

月に2、3回のゴルフが楽しみ。80歳までは身体が動けるように頑張りたいです。

### 酒井 栄二会員

ハイキングやクルマでの旅行が好き。後期高齢者になっても健康に気をつけて、人とのつながりを大切にしていきたい。

### 渡辺 恒子会員

庭での花の栽培が好き。いちばんの楽しみは3人の孫たちと過ごす時間。元気で笑顔で暮らしたいです。

### 杉山 ちよ会員

テニスや野菜作りを楽しんでいます。シニアカレッジ(園芸)の最終年なので、グループ活動を楽しみたいです。



安全委員会だより

10月～11月の事故内容

平成30年11月末現在

前年度	5件	1件
平成30年度	10件	2件
	損害	傷害

★損害事故(3件)

損害①

●内容：センター車両を運転中、方向転換の為に後退中に後続の一般車両と接触し後続車のフロントバンパーを破損させた。

●注意点：運転の際は、周囲の状況を確認のうえ、特に後退の際は目視での安全確認を行うこと。

損害②

●内容：センター車両を運転しマンション敷地内を走行中に対向車をよける際に駐車場の壁面と接触し、駐車場の壁面を破損させた。

●注意点：運転の際は、周囲の状況を確認のうえ、無理な運転操作を控えること。

損害③

●内容：機械除草作業中、石が飛散し停車車両のフロントガラスを破損させた。なお、飛散防止措置のネットをしていたが、ネットとネットのすき間より飛石が飛散した模様。

●注意点：今回の事故を踏まえ、本件に対する安全対策を検討し再発防止に努めること。

車両運転に関わる事故が増えています。就業中及び就業途上中の運転には十分に気を付けることにも、安全運転を心掛けてください。そして、「安全はすべてに優先する」を合言葉に安全就業に努めましょう。

講習会報告

◆家事援助サービス講習会開催報告

平成30年11月9日(金)、午後1時30分から午後3時30分まで当センター3階大・小会議室にて「年末の大掃除に向けて清掃のポイント」と題して(有)ゼン・クリンサービス取締役下井悟氏をお招きし講習会を開催した。  
窓ガラス、換気扇、シンク、浴槽、お手洗いの清掃などを学び、会員9名が受講した。



▲窓ガラス清掃の実習

◆子育て支援講習会

平成30年12月12日(水)、午前10時30分から12時まで、当センター3階大会議室にて「子育て支援にかかわる中での子供の人権について」をテーマにNPO法人女性と子どものエンパワメント関西事務局長井山里美氏を講師にお招きし開催し、会員9名が受講した。

◆筆耕勉強会

平成30年11月15日(木)、午後1時30分から3時30分まで当センター3階大会議室にて「卒業証書の部分筆耕にむけての練習②」を仲田加代子会員(書道師範・賞状技法士)を講師に迎え練習した。会員4名が受講した。



▲筆耕勉強会の様子

# 社会参加支援活動

## ◆キャピリンピックボランティア

平成30年11月11日(日)、午前7時20分から午後3時15分まで市立スポーツセンター体育館メインアリーナにて開催された第38回キャピリンピック会場のシート引き、イス・機の配置、運営の手伝い、駐車場の案内、および後片付けのボランティアを行った。

各競技に興じる参加者たちの夢中な表情は早朝からの疲れを忘れさせるようであった。会員9名が参加した。

### ◎ボランティア協力者

#### ・ 駐車場係

岩城 正巳 杉谷 安正  
日高 一郎

#### ・ 設営係

高瀬 紘一 高田 均  
辻 敏昭 坪井 敬  
西口 弘 西山 孝



▲ゲームのお手伝い



▲まずは準備体操から開始

ボランティアにご協力いただいた会員の皆さまありがとうございました。

事務局

# 地区・地域班だより

## ◆地区・地域班特集

地区・地域班の活動を「存知ですか？」

地区・地域班とは、市内を4ブロックに分け、4ブロックに8地区と27地域を割り付け構成されており、会員相互の連帯意識と親睦を基調に、センター事業を遂行するとともに、地域の発展に貢献するために組織されています。

主な活動内容は、地域への貢献活動・地域団体との親睦、交流・会員間の親睦、交流及び仲間づくり・センター事業運営への協力などです。センターの会員はすべて入会と同時に自分の居住している地区・地域班に所属し、その活動に参加していただくこととなります。

地区・地域班が再び活動を始めて8年が経過します。班長以下役員の方々のご尽力もあり、活動を継続しているところではありますが、各班の役員の方々からは、「会議や各種ボランティア、親睦の集まりなどで案内しても参加者が少

ない」「役員の後任が見つからない」等、様々なご苦労の声が上がっています。会員の皆様には今一度地区・地域班活動の趣旨をご理解いただくために数回に分けて特集記事を掲載していきます。

### 良元3の2地域班役員会議を取材

今回は、日頃から活発な地域班活動を行っている良元3の2の地域班役員会を取材させていただきました。

平成30年12月11日(火)午前10時、マクドナルド仁川店に上野班長以下、7名の役員の皆様が集まりました。今回の主な議題は、平成31年1月に仁川小学校運動場で開かれる「とんど焼き」のボランティアについてであった。

イベント前日のテントや、やぐら組立ての手伝い、遊具周辺のロープ張りなど。そして当日のテント立ち上げから会場の後片付け。駐輪スペースの管理、誘導、来場者数のカウントなど、作業ごとに担当役員が決められていく。そして決められた作業内容にもとづいて、班の全員にボランティア募集の告

知が行われていくことになる。毎年、地域班としてボランティアで参加している行事だけに、役員の方の参加意欲も高く役割の振り分けも手際良く決められていった。

この日は他にも、昨年12月に行われた神戸王子動物園への良元第3地区合同見学会の報告や、今年4月に開催予定の「花見の会」についても話し合われた。



▲地域班活動の様子

上野班長は「当班の役員の皆さんはとても熱心です。役員会を開く際も、皆さんの予定を合わせて開催するので、役員会での欠席もありません」と話される。年間スケジュールを見せただくと、年

間ごとの詳細なスケジュールが明記されていた。乾幹事は「班の活動はハイキングなどもあって楽しいですよ。楽しさが原動力ですね」とほほえまれた。仲のよい熱心な役員の方々の努力で、日頃から地域に密着した班活動が実践されているのを感じた。

(取材・広報委員/佐野純)

地域班活動は、会員一人ひとりが協力し、助け合いながら活動し、地域社会に貢献して、シルバー人材センターの存在を広く認知して頂くことができる会員活動の場です。センターを活性化し、魅力あるセンターにするために必要な組織ですので、会員皆様の一人ひとりのご協力をお願いいたします。

## 互助会だより

### ◆社会見学

「パティシエ エス コヤマ」  
「キリンビール神戸工場の見学」

平成30年11月13日(火)、「パテ

ィシエ エス コヤマ」キリンビール神戸工場の社会見学を行い会員・役員43名が参加した。

「パティシエ エス コヤマ」は三田市郊外の閑静な住宅街の一角にある洋菓子店で、当日も店内はすでに多くの人でにぎわい、お目当てのケーキを買い求めた後「キリンビール神戸工場」へ。

ここではビールの素材からキリン一番搾りができるまでの工程を映像とガイドの説明を聞きながら見学する。

まずシアタールームでキリンビールの歴史とビールの魅力について学んだ後、麦芽の味見とホップの香りを確かめ、次に一番搾りと二番絞りの飲み比べを体験した。

ビールの原料となる麦芽をつくる製麦から厳しい検査といくつもの工程を経てできたビールがアルミ缶に充填され、目の回るような速さでコンベアの上を走りパッキングされていく様子は、とても見ごたえのある光景でよい勉強となった。

見学後はビールの試飲もあり、約一時間の工場見学を終えて帰路に着いた。

(広報委員/中嶋諒子)

### 「サントリー京都ビール工場」西利本店の見学

平成30年11月29日(木)、「サントリー京都ビール工場」西利本店の社会見学を行い会員・役員45名が参加した。

ビールができるまでの「製麦」「仕込」「発酵」「貯蔵」の過程「樽詰」の製造過程を見学しながら学び、見学後はビールの試飲もあり、約一時間の工場見学後、「漬物の西利」に立寄り、京漬物の試食とワインをいただき、買物をして帰路に着いた。

(広報委員/中嶋諒子)

### ◆一喜会ゴルフコンペ

平成30年12月7日(金)、宝塚高原ゴルフクラブにて開催され、21名が参加した。成績は次のとおり。

- 優勝 鵜飼 勉
- 準優勝 大森 茂樹
- 三位 岡 宗治

次回のコンペは3月8日(金)、旭国際宝塚カンツリー倶楽部にて開催予定。

事務局だより

◆会員の状況(11月末現在)

会員数・平均年齢は11月末  
入退会者は10月～11月

会 員 数	922名
(男性会員数)	685名
(女性会員数)	237名
入 会 者 数	11名
退 会 者 数	13名
平 均 年 齢	73.4歳

配 分 金

支払い日のお知らせ

1月就業分 2月15日(金)  
2月就業分 3月15日(金)  
3月就業分 4月15日(月)

☆お願い

就業報告書の提出は、就業完了後、または翌月の3日までに提出するようお願いいたします。

☆チラシ配布就業会員募集

事務局では、チラシなどの配布ができる方を随時募集しています。就業可能な方は事務局に「希望会員アンケート」を備えていますので、事務局窓口までお越しください。

☆清掃業務就業会員募集

清掃業務ができる方を募集しています。就業希望される方は、事務局までお問い合わせください。

☆家事援助業務就業会員募集

家事援助業務ができる方を募集しています。就業希望される方は、事務局までお問い合わせください。

会員の広場

川 柳

その笑顔しんからつかれ僕ねる

♥ 富吉 博彦

下宿先お国訛りが混じり合う

♥ 織山 茂

俳 句

大泣きの周りは笑顔七五三

♥ 川嶋 兼雄

風花や古き都の馬車通り

♥ 中嶋 諒子

三世代ぐい呑み交す客座敷

♥ 橋本 千津子

冬空を突き刺す小枝窓掃除

♥ 羽山 淳子

原子炉が右往左往の年の暮れ

♥ 丸山 長資

郷愁や黄昏時の帰路の雁

♥ 安井 修

編集後記

会員の皆さま明けましておめでとございます。皆様に興味を持って読んでいただけるよう広報委員は今年も精一杯努力してまいります。▲昨年は猛暑や地震、台風で散々な年でしたが今年が良い年であるように願いたいものです。株式の世界では「戌亥(いぬい)で仕込み、辰巳(たつみ)で売る」などの格言があります。イノシシのイメージの「猪突猛進」とは少し異なる気がします。今年も足元を固める年なのでしょう。▲新春インタビューでは亥年の方にお集まりいただき色々お話を伺いました。一堂にお集まりいただくことは初めてのことでしたが、顔を合わせてお話をすることがコミュニケーションにとっても大切であると痛感しました。地区・地域班活動に於いても、とにかく顔見知りになることが全ての始まりではないかと感じます。各班で行事の呼びかけがあった際には、地域班の方と顔見知りになることを第一にご参加していただけたら、それぞれの活動が活発になるのではないかと思います。

(広報委員)／今榮 満夫

# シルバー世代の健康管理

— 感染症に気を付けよう —

冬に多い感染症にインフルエンザ、感染性胃腸炎、肺炎などに注意！

**インフルエンザ** インフルエンザは風邪と異なり高熱が出て重症化する恐れがあります。感染している人の咳・クシャミにより発生した飛沫感染、感染した人が触った直後のドアノブなどを触りそのまま口を触ることによる接触感染などがあります。  
予防にはワクチン接種や人込みから帰ったら手洗い、うがいなどが大切です。

**感染性胃腸炎** ノロウイルスやカンピロバクターが代表的です。激しい嘔吐や下痢が特徴です。予防は手洗い、肉や貝類は必ず加熱調理することで防げます。

**肺炎** 黄色ブドウ球菌やラジオネラ菌などによる肺炎は体力の衰えなどによる免疫の低下により発症することが多い。また肺炎球菌による肺炎はワクチン接種によって予防はできるが過信は禁物です。誤嚥性肺炎の予防は、食事中嚥下(えんげ:飲み込むこと)に意識を集中し、食後2時間は起きていることです。

感染症予防には身体を健康に保つことが何より大切です。異変を感じたらすぐに医療機関へ。

## 日常でお困りのことはシルバー人材センターにご相談ください

高齢者の知識と経験を活かして、様々な仕事をお引き受けしています。依頼内容によっては対応できない仕事もありますので、まずお電話でお問い合わせください。TEL 0797(81)7000

- ・ **家事援助サービス** 室内清掃、窓ガラス・網戸などの清掃、食事の支度・洗濯、お部屋内の片付けや衣替え、ゴミステーションの掃除、買い物など
- ・ **子育て支援サービス** お子様とお留守番、子どもの一時預かり、シルバー出前サービス
- ・ **お庭の手入れ** 植木剪定・施肥、植木の水やり、雑草刈り(機械・手刈り)
- ・ **家屋の手入れ** 簡易な大工仕事・塗装など
- ・ **事務サービス** あて名・賞状書き、ワープロなどでの原稿づくり、パソコン操作指導など
- ・ **空き地・空き家管理事業** 空き地・空き家を敷地の外側から現状確認を行い報告するサービス

**シルバー人材センター会員募集** 就業などを通じて社会参加しませんか？

シルバー人材センターの会員になるには

### ◎会員の条件

宝塚市在住の60歳以上の健康で働く意欲のある方で、シルバー人材センターの趣旨に賛同していただける方。

### ◎入会方法

入会説明会は毎月第4月曜日午後1時より開催していますので、事前に予約の上参加してください。

入会申込書・顔写真などの必要書類の提出と、会費(年額2,000円)の納入で会員となります。

\*ご興味のある方は、まずはシルバー人材センター事務局までお電話でお問い合わせください。

問合せ先：公益社団法人 宝塚市シルバー人材センター

〒665-0827 宝塚市小浜2丁目1番1号 TEL. 0797(81)7000 FAX. 0797(81)7040

<http://www.sjc-takarazuka.or.jp>



ホーム  
ページ  
は「  
ちん  
から